

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室  
 TEL 03-5253-8111 内線 42353  
 フォン：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成21年3月5日

リコール届出番号	2268	リコール開始日	平成21年3月6日
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 山内 孝	問い合わせ先：マツダ(株)コールセンター TEL 0120-386-919	
不具合の部位(部品名)	緩衝装置(ロアアーム)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>フロントサスペンションにおいて、ロアアームとロアアームボールジョイントの組み付け工程が不適切なため、ボルトの締め付け力が不足するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが緩み、最悪の場合、当該ボルトが折損し、走行不能となるおそれがある。</p> <p>リコール届出番号1821の市場措置において、ロアアーム、またはロアアームボールジョイントを交換した場合のボルトの締め付け方法が不適切なため、ボルトの締め付け力が不足するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが緩み、最悪の場合、当該ボルトが折損し、走行不能となるおそれがある。</p>		
改善措置の内容	全車両、当該ボルトの締め付け状態を点検し、当該ボルトとロアアーム表面に隙がある、または当該ボルトが脱落や折損している場合は、ロアアーム一式を新品と交換する。なお、当該ボルトとロアアーム表面に隙がない場合は、規定のトルクで締め付ける。		
不具合件数	8件 0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。社内情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.2268のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	TC-SYE4T	タイタン	SYE4T-201882~SYE4T-202622 平成16年11月9日~平成18年3月27日	105	2WDのみ
			SYE4T-202637~SYE4T-203676 平成18年4月6日~平成20年11月28日	1,036	
	TC-SYE6T		SYE6T-207730~SYE6T-211725 平成16年11月1日~平成18年4月4日	803	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考
マツダ	TC-SYE6T	タイタン	SYE6T - 211729 ~ SYE6T - 217849 平成18年4月5日 ~ 平成20年12月1日	6,091	2WDのみ
	KR-SYF4T		SYF4T - 100023 ~ SYF4T - 100641 平成16年11月18日 ~ 平成18年4月3日	40	
			SYF4T - 100642 ~ SYF4T - 101204 平成18年4月5日 ~ 平成19年7月26日	562	
			SYF6T - 100015 ~ SYF6T - 103231 平成16年11月12日 ~ 平成18年4月4日	237	
	KR-SYF6T		SYF6T - 103232 ~ SYF6T - 106618 平成18年4月5日 ~ 平成19年7月31日	3,359	
(計4型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年11月1日 ~ 平成20年12月1日	(計 12,233 台)	11,048 台 1,185 台	

(備考)

本届出 は、平成19年2月2日付け届出番号「1821」のリコール届出と同様な問題であるが、市場措置が不要と判断した期間の一部の車種において、新たな問題が判明したため、届出を行うものである。

本届出 は、平成19年2月2日付け届出番号「1821」のリコール届出の改善措置において、ロアアーム、またはロアアームボールジョイントを交換した車両は再度対策を行うと共に、未実施車両についてはこの度の改善措置に切り替えるものである。

**【注意事項】**

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。